

令和元年度 授業エキスパートを目指す授業研究会 令和元年12月12日(木)

# 久喜市立久喜東中学校

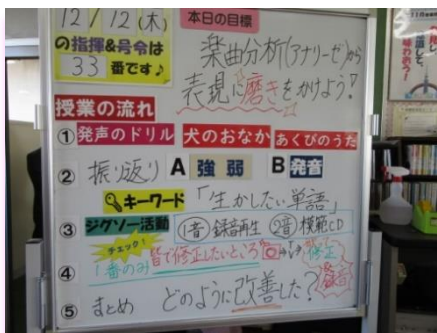
## 音楽

題材名

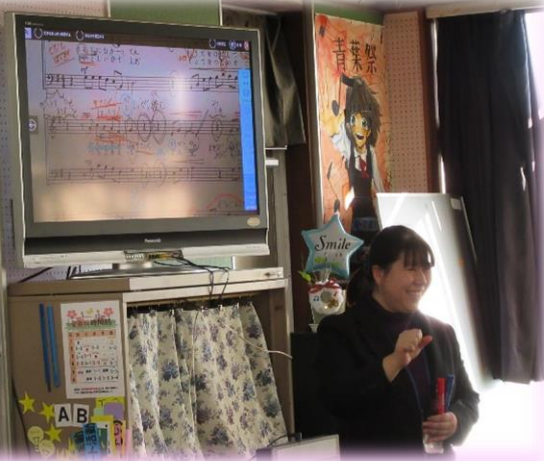
「心通う合唱を目指して～楽曲分析を活かした協調学習～」

第1学年

本時の学習に見通しを持たせる工夫



小中連携で「発声練習 CD」を作成して小学校に渡しています。



グループでの書き込みをTVに映してみんなで共有します。



久喜東中学校 音楽科 3つのキーワードフレーズ

**見て理解**  
 1. 1年間の学習の紹介文や感想が学べる。  
 2. この年間はどこにつなげているのか、身に付いた技能は何だろうか？授業の提示内容や系統観をチェックしてみよう。

**聴いて実感**  
 1. 良い音を良い音と感じる心を大切にしよう。  
 2. 様々な音の質(音程、音色、温度、曲さ)から、特定の調(音程)をつくろう。  
 3. 時代音楽や作曲家、作詞者の意図を探ろう。

**体験して感動**  
 1. 音楽に触れる喜びを大切にしよう。  
 2. 見える形(実践、文章)で表現してみよう。  
 3. 「失敗は成功の母」/失敗を恐れるな(得意しやめ) / 頑張(得意)をつくろう。  
 4. どのようにすればおぼくは多量か体験から学ぼう。

**様々な形で見える音楽 道徳教育との関連**  
 A: 向上心、個性の伸長  
 B: 相互理解、友情、信頼、感謝  
 C: 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度、よりよい学校生活、集団生活の充実  
 D: 感動、畏敬の念

音楽室の常時掲示。道徳教育との関連を明確にしています。



授業のまとめの場面での歌唱。子供達の歌声と表情がぐっとよくなりました。

## 参会者からの声 授業の感想・全体的な感想



### 【授業について】

◇子供達への先生の声かけや歌声をつくっていく指導がとても参考になりました。先生が練りに練って、意図をもって行われた授業だと感じ、大変興味深かったです。中学校1年生でこの歌声にするためには、小学校からの声づくりや楽譜指導など一つ一つの積み重ねが大切さだと感じました。授業では、子供達が自信を持って一生懸命表現することが当たり前になっていると感じました。こ

の子達は、2年後はどうなるだろうと楽しみにになりました。

◇授業の流れや掲示物など、生徒が関心を持って授業に取り組める環境でした。明るく、はつらつとした先生の姿、生き生きと歌ったり友達と工夫して音楽を作ったりする生徒の姿に、「音楽は生きている！」と思いました。改めて音楽の必要性和音楽は心を育む教科だと感じました。

◇中学校の授業を参観することができ、小中連携の大切さを改めて実感することができました。生徒の意欲が上がる声かけや掲示物等、校種は違いますが、大変参考になりました。授業が終わった後に、生徒が「あー、疲れた！」「体使うよねー！」「楽しかったー！」と口々につぶやき、今日の楽曲を歌いながら後片付けをしている姿を見て、本気で学習していることがよく分かりました。私もそんな授業ができるよう頑張りたいです。

### 【協議について】

- ◆自分では考えつかないような視点で色々な方法を知ることができました。「これが正解！」というものがあるわけではないので、生徒の実態を踏まえて、研究していきたいです。
- ◆他校の音楽の先生と話しをすると、自分が普段の授業で悩んでいること等も話ができるので、とても勉強になります。また、多くの先生方の授業の工夫も知ることができるので、ありがたいです。
- ◆たくさんの意見を聞くことができて、大変参考になりました。御指導では、小・中・高のつながりの大切さと、音楽がいかに学校の中で大切なのかを改めて実感しました。ありがとうございました。



### 指導講評

- 本日の協調学習は、4年間の積み重ねと本校の実態に合っているからこそ実践できたものである。
- 子供たちの実態に応じた声かけが工夫されていた。
- ICTによる視覚化する工夫がよかった。複数人が一斉に音楽を聴くことができるイヤホンジャックがある。使用している機材の有効活用について共有を。
- 音楽の時間として、音楽活動の時間の十分な確保をしたい。
- 歌詞の中から表現を考えさせてもよかった。小学校の段階から、教師が子供とコミュニケーションをとりながら、子供達が知覚・感受したことと楽譜記号とを結びつけてあげるのがポイントである。週1時間あるかないかの時数の中で、子供達に気付かせる声かけや発問等の工夫を大切にしてほしい。

